

# 参考資料

## サッカリン及びサッカリン塩類の試験データ一覧

投与物質 <sup>1</sup>	試験種類	動物種 <sup>2</sup>	
サッカリンカルシウム	反復投与毒性、発がん性	ラット(2)	
	遺伝毒性	<u>染色体異常 (in vitro)</u>	
サッカリンナトリウム	急性毒性	ラット(2)、マウス、ハムスター、ウサギ	
	反復投与毒性、発がん性	<u>ラット(6/7)</u> 、 <u>マウス</u> 、イヌ(2)、サル(2)	
	遺伝毒性	復帰突然変異 (in vitro) : 細菌、 <u>酵母</u> 伴性劣性致死 : <u>ショウジョウバエ(1/2)</u> 不定期 DNA 合成 : ラット肝細胞 <u>姉妹染色分体 (in vitro) (4/5)</u> 姉妹染色分体 (in vivo) : <u>ハムスター</u> 、マウス <u>染色体異常 (in vitro) (4)</u> 染色体異常 (in vivo) : <u>ハムスター(1/2)</u> 、 <u>マウス(2/4)</u> <u>突然変異 (in vitro)</u> 突然変異 (in vivo) : ラット(2)、 <u>マウス</u> マウスリンフォーマ tk (in vivo) : 細菌 小核 : マウス(2) スポット : <u>マウス(1/2)</u> 優性致死 : <u>マウス(4/8)</u> 相互転座 : マウス	
	繁殖性	<u>ラット(1/2)</u>	
	催奇形成	<u>ラット</u> 、マウス	
	一般薬理	<u>ラット(1/2)</u>	
	ヒトにおける知見	ヒト	
	サッカリン	反復投与毒性、発がん性	<u>マウス(2/3)</u> 、サル
		遺伝毒性	染色体異常 (in vitro) 復帰突然変異 (in vitro) : 細菌、 <u>酵母</u> <u>遺伝子変換 (in vitro)</u> 姉妹染色分体 (in vitro) : ヒトリンパ球
		繁殖性	マウス
催奇形性		マウス	
ヒトにおける知見		ヒト(9)	
サッカリンカリウム	遺伝毒性	<u>染色体異常 (in vitro)</u>	
サッカリンマグネシウム	遺伝毒性	<u>染色体異常 (in vitro)</u>	

<sup>1</sup> 網掛けしてある物質が、今回の申請品目である。

<sup>2</sup> 動物名の後に記載する括弧内の数値は、試験データの数を示す。ただし、1つの場合は記載していない。

<sup>3</sup> 赤字あるいは下線で示した部分は、毒性影響がみられた、あるいは試験結果が陽性であったものである。